

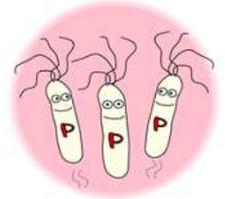
対象年齢拡充
事前申し込み

生涯に一回、胃疾患リスク検診を受けましょう！

胃がんには、ピロリ菌感染が深くかかわっており、胃粘膜の萎縮が進むほど、胃がんが発生しやすくなります。

ピロリ菌の感染の有無と胃の粘膜の萎縮度を調べることで胃の健康度を判定し、将来の胃がんリスクを知り除菌につなげることができます。（胃がんそのものを見つける検査ではありません）

一人1回のみ検査補助を受けられますので、ご利用ください。



対象者：19～65歳の未検査の方

実施期間：令和5年6月13日（火）～10月31日（火）

検査機関：市内指定医療機関

持ち物：問診票及び受診券、1,000円（個人負担金）

検査内容：血液検査（ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査、ペプシノゲン検査）

受診方法：①健康課へ申し込む→電話:0763-23-2027（平日の日中）

Web（24時間受付）

②問診票及び受診券が届く

③指定医療機関で検査を受ける

④検査結果通知書を確認する（約1か月後）



問い合わせ：健康課 健康増進係 電話 23-2027

●胃疾患リスク検診受診結果について(H27～R3年)

ABC分類	正常		異常	
	A	B	C	D
ピロリ菌	陰性(-)	陽性(+)	陽性(+)	陰性(-)
ペプシノゲン	陰性(-)	陰性(-)	陽性(+)	陽性(+)
胃の健康度	健康な状態です。 	ピロリ菌感染はありますが、胃粘膜の萎縮は進行していません。	ピロリ菌感染があり、胃粘膜の萎縮は進行しています。	胃粘膜の萎縮が進み、ピロリ菌が住めなくなった状態です。

